

スポーツYAMATO

代打の切り札誕生だ

鈴木渾身のレフト前H



9月27日、今年のインカレで優勝を果たし、大学ナンバードワンとなった城西大学とのオープン戦が行われた。城西大学はインカレが終わり、4年生7名が引退となり、3年生を主体に新チームとしてスタートを切ったばかりだが、力のある素晴らしい選手が多数いる大学だ。ダブルヘッダーで行われた2試合目にチャンスの場面が高卒2年目の鈴木が代打で登場した。鈴木は粘りに粘り、渾身のヒットをレフト前に運んだ。決して当たりは良くなかったが、何としてもランナーを返すと言う鈴木のがんがれがヒットを生んだ。本人に打った感想を聞くと「打った後は手がしびれて痛かった」との事だが、タイムリーヒットを打ち、喜びを隠しきれない表情だった。鈴木の本業は投手。投手としてはまだまだこれからにはなるが、打者としては代打の切り札として残りのリーグ戦で起用される可能性が現実味を帯びてきた。チャンスの場面で「代打鈴木」のアナウンスが球場に響くのは来週に迫った4節栃木大会になるだろう。今度は会心の当たりを期待だ。

本業は投手だが